広島大学　（前期日程）

令和二年度
入学試験問題
解答用紙

国語

国語総合（近代以降の文章）・現代文B

素点欄には記入しないこと	
素点番号	
素点	
I	
II	
III	

© 河合塾　2020年

第一問

問一

a	b	c	d	e
過剰	解析	尚早	妨	不祥事

問二
残された人生の内容の質が実際に低いのではなく、特定の社会が勝手に決めつけたものにすぎないことを示す意図。

問三
より質の高い生への希求という特定の価値観を背景にして、人の命を人為的にコントロールしている点。

問四
1　美しい　良い

2
延命治療の差し控えや中止ばかりか、医師による患者の自殺の幇助も含めたものでもあるのに、耳に聞こえの良い言葉が覆い隠し、尊厳死の内容を十分に検討させないまま成立させた。

問五
尊厳のない状態なら死んだほうがましだと人々に思わせ、また尊厳のない生が何によってもたらされているのか、という問いを妨げること。

問六
正しい情報提供がなされないと、人工呼吸器の装着は、治療や回復にはつながらず、本人の生活や人生の充実には全く寄与しない悪い意味の延命治療でしかなく、それは避けられるべきものとされるということ。

問七
尊厳死や延命治療の存在する社会的な背景やその内容の吟味をさせることなく、それらの言葉の持つ良いイメージや悪いイメージによって、尊厳死は認めるべきもの、延命治療は避けるべきものと人々に思い込ませる。

（以上百字）

1/2

第二問

問一
一昨年の六月十九日に岸部を誘って伊勢神宮に行った思い出。

問二

ア	イ	ウ
C	b	a

広島大学　（前期日程）

問三
岸部との結婚まで考えていた香田には、彼が被爆者としての自分を認めないことでしか生きられなかったのだと思われたから。

問四
1
A	B
岸部	私

2
鴨の親子を偶然目にして、Aは家族を失いまた家族を持つことを断念した岸部が複雑な思いで発した言葉であるが、Bはそれを単に僥倖と思った「私」が得意げに発した言葉である。

問五
岸部が鴨の親子を見て「いいなあ」と言ったことを、岸部と家族になれなかった香田に話すのは残酷であると思われたから。
（以上六十字）

問六
今まで知らなかった被爆者としての岸部の苦悩や、彼とは結婚できなかったものの最期を看取った香田の苦悩を知るにつけ、ままならない人生にしみじみとした感慨を抱くとともにいたたまれない気持ちになったから。

2/2

第三問

問一
タイのリゾートに滞在した数日間の時間の流れは、旅に行く前や旅から帰った後の普段の生活の時間の流れとは異なるように思われたということ。

問二
例文では前に言った事柄が後から言う事柄の原因になることを示すために使われているが、本文では前に述べたことをあらためて強調するために使われている。

問三
旅先での夕食時に現実離れした感覚を味わったにもかかわらず、その感覚が現実であると思われたこと。
（以上五十字）

問四
1
静寂に包まれた島で一人幻想的な時間を過ごすような気分を味わっていたということ。

2
非日常的な雰囲気を味わうことに心地よさを感じていたため、それとは対照的な繁華街の喧噪に不快感を抱いたから。

問五
実際には何も不思議なことは起こっていなかったが、旅先では夢のような体験が味わえるという点でつじつまが合う。

© 河合塾　2020年